

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第19週[5月10日～5月16日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

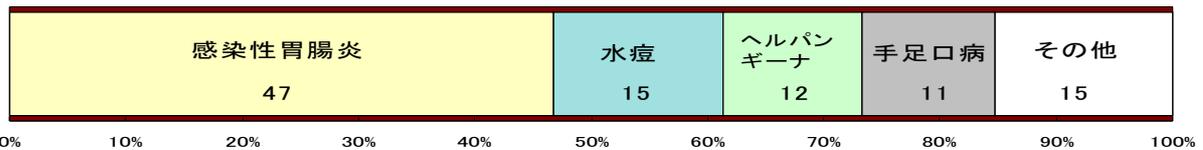
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：水痘

- ・ 殆どの日が晴れて、過ごし易い気温が続いた。
前週は大型連休による医療機関の休診等の影響を受けて減少していたが、今週は殆どの疾患で増加した。
- ・ 感染性胃腸炎は高幡を除く地域で増加し、総数は前週の約1.2倍増となったが、注意報値を越す地域はみられなかった。
- ・ 水痘（幡多：警報，安芸：注意報→警報，高幡：警報，高知市：注意報）は全ての地域で増加し、総数は前週の約2.8倍に増加し、注意報値を越した。
- ・ ヘルパンギーナ（中央西：注意報→警報，安芸：注意報，高幡：注意報）は全ての地域で増加し、総数は前週の約3.2倍に増加し、注意報値に迫る報告数となった。
- ・ 手足口病（中央西：警報）は安芸を除く地域で増加し、総数は前週の3倍増となり、特に中央西では警報値を大幅に超している。

上位疾患構成図



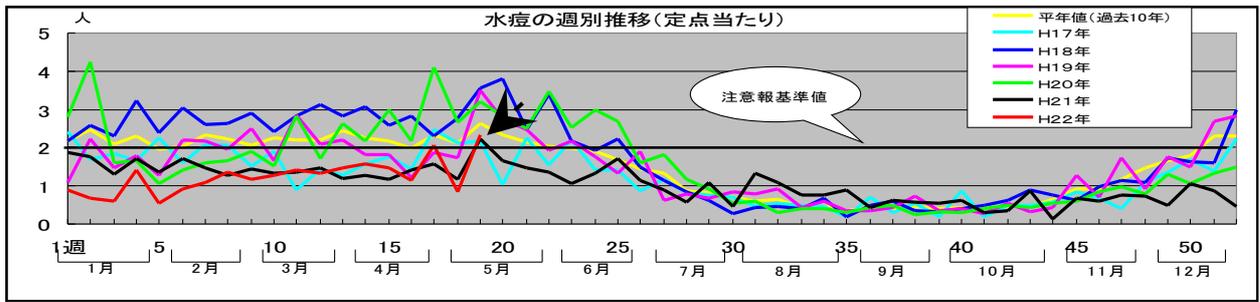
地域別感染症注意報・警報発生状況

第19報（2010年5月10日～2010年5月16日）



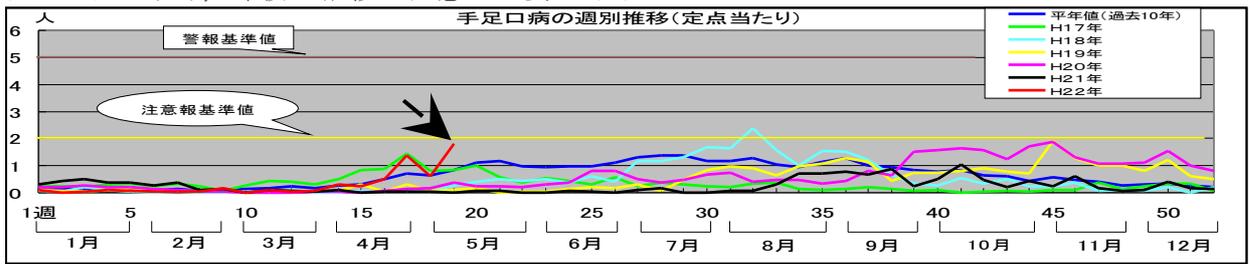
水痘：今週2.33（注意報値：2.00 警報値：4.00）

今週は大幅に増加し、再び注意報値を越した。地域毎にみると、幡多、安芸、高幡で警報値を越し、高知市で注意報値を越した。例年6月頃までは流行がみられるので、今後もしばらくは推移が必要である。



手足口病：今週1.80（注意報値：2.00 警報値：5.00）

過去10年間の同時期で、平成14年（104例）に次ぐ報告数となっている。全国的にも例年より立ち上がり早く、今後の推移に注意が必要である。



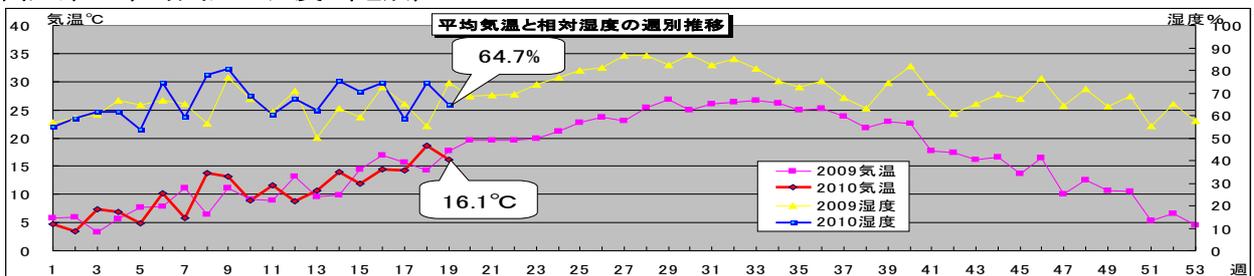
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
4	ヘルパンギーナ	1歳男	高知市	Coxsackievirus A5
11	ヘルパンギーナ	1歳男	高幡	Coxsackievirus A5
11	ヘルパンギーナ	5歳女	高幡	Coxsackievirus A5
13	熱性けいれん	1歳男	中央東	Enterovirus + Adenovirus
19	感染性胃腸炎	6ヵ月男	高知市	Rotavirus A群
19	感染性胃腸炎	2ヵ月女	高知市	Rotavirus A群
19	感染性胃腸炎	1歳男	中央東	Rotavirus A群
19	感染性胃腸炎	10ヵ月女	高知市	Norovirus G II
19	感染性胃腸炎	5歳男	高幡	Sapovirus
19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6歳男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-12

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 1例（87歳女）《安芸》（今年53例）
 4類感染症：レジオネラ症 1例（93歳男）《高知市》（今年2例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《渭南病院小児科》：マイコプラズマ気管支炎 3例（11, 14, 22歳女）
 《さたけ小児科》：マイコプラズマ感染症 2例（9歳男, 11歳女） 膿痂疹 1例（1歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：感染性胃腸炎の9例中7例はロタウイルス陽性
 アデノウイルスによる扁桃炎 2例

中央西：

《石黒小児科》：口唇ヘルペス 1例（51歳男）

《くぼたこどもクリニック》：ヘルパンギーナの1例（8ヵ月女）は中土佐町

高知市：

《福井小児科・内科》：咽頭結膜熱の2例（3歳女，1歳男）はアデノウイルス抗原陽性

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス扁桃炎 3例（0,2歳女）

ヘルペス性歯肉口内炎 1例（10歳男）

百日咳の2例（9歳男，34歳女）は土佐町在住の母子

中央東：

《早明浦病院小児科》：高熱を伴う胃腸炎が小学校で流行中

全国情報第16週（4/19～4/25）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核270例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症13例（有症者6例、うちHUSなし）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎15例〔*第10～16週の累積報告数は114例（劇症肝炎2例、うち死亡1例）となり、都道府県別では、福岡県20例、広島県18例、東京都14例の順に多い。114例のうち、感染源として、カキ47例、貝類3例などが推定されている。広域アウトブレイクの可能性もあり、引き続き注意を要する。〕、つつが虫病1例、デング熱3例、レジオネラ症2例

5類感染症：アメーバ赤痢7例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群12例（AIDS 4例、無症候6例、その他2例）、ジアルジア症1例、梅毒5例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん6例、麻しん12例

報告遅れ：E型肝炎1例、デング熱6例、マラリア1例、レジオネラ症2例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2009年

2010年第1～16週までの検出総数は85件で、第9～10週に山形県の老人ホームでの集団発生から0111（VT1）が7件検出されている。第3週に大阪府でインドネシアへの渡航者、第6週に千葉県でニュージーランドへの渡航者各1例から0157が検出されている。

2009年1～4月に0157が17都道府県から50件、026が6府県から16件、その他の血清型が11都道府県から20件（このうち、0111が山形県から7件、091が6府県から7件）報告されている。

◆感染性胃腸炎関連ウイルス2009/10シーズン

ノロウイルスは2009年中は例年に比べ検出報告数が少なかったが、2010年に入ってから増加している。ロタウイルスは例年同様、第16週現在報告が増加中である。

病原体個票による報告では、2009年第36週～2010年第16週にノロウイルスgenogroup（G）I177件（うち、GI/2 1件、GI/4 22件、GI/7 7件、GI/8 20件、GI/12 1件、NT 126件）、GII 1,842件（うち、GII/1 1件、GII/2 204件、GII/3 38件、GII/4 285件、GII/6 15件、GII/7 3件、GII/12 12件、GII/13 4件、GII/14 6件、NT 1,274件）、G不明202件、サポウイルス62件（うち、GI 12件、GII7件、NT 43件）、SRSV（電頭で検出）2件、A群ロタウイルス210件（うち、G1 5件、G3 25件、G92件、NT 178件）、ロタウイルス群不明（電頭で検出）5件、アストロウイルス3件（うち、1型1件、3型2件）が検出されている。

◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

AH1pdmが2009年第36週～2010年第17週に全都道府県から21,635件報告されている。AH3亜型は第36～44週に10道県から15件報告され、その後16週間報告がなかったが、第8～17週に9県から19件報告されている。B型は2009年第29週以降報告がなかったが、山形系統株が第47週に1件、第2週に滋賀県から1件、第9～10週に2道県から4件、第13～14週に2道県から3件、ビクトリア系統株が第50週に1件、第3～16週に13都道府県から75件、系統不明株が第5～13週に4都県から8件報告されている。AH1亜型は第36週以降報告されていない。このうち、輸入例からの分離・検出が41件（AH1pdm 37件、AH3亜型4件）報告されている。

直近の2010年第12～16週の5週間ではAH1pdmが19府県から45件、AH3亜型が9件（兵庫県から4件、千葉県から2件、新潟県、石川県、広島県から各1件）、B型はビクトリア系統株が27件（広島県から16件、北海道から4件、新潟県から2件、秋田県、埼玉県、三重県、大阪府、兵庫県から各1件）、山形系統株が3件（三重県2件、北海道1件）、系統不明株が2件（東京都、神奈川県から各1件）報告されている。AH1pdm（45件）は分離・検出例全体（86件）の52%を占めている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計) H22/1/4~H22/5/16
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									360 (0.08)	2,543 (52.98)
小児科	咽頭結膜熱			3			1	4 (0.13)	1 (0.03)	585 (0.19)	30 (1.00)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	12	2	4	1	24 (0.80)	17 (0.57)	2,491 (0.82)	398 (13.27)
	感染性胃腸炎	18	47	103	20	10	25	223 (7.43)	180 (6.00)	18,730 (6.18)	5,584 (186.13)
	水痘	8	5	23	5	8	21	70 (2.33)	25 (0.83)	5,906 (1.95)	706 (23.53)
	手足口病		5	19	24	3	3	54 (1.80)	18 (0.60)	1,678 (0.55)	167 (5.57)
	伝染性紅斑			5				5 (0.17)	3 (0.10)	627 (0.21)	39 (1.30)
	突発性発疹	2	2	7	4	7	1	23 (0.77)	8 (0.27)	1,167 (0.39)	190 (6.33)
	百日咳			2				2 (0.07)		70 (0.02)	19 (0.63)
	ヘルパンギーナ	5	5	19	20	4	5	58 (1.93)	18 (0.60)	440 (0.15)	211 (7.03)
	流行性耳下腺炎			7			1	8 (0.27)	5 (0.17)	3,060 (1.01)	85 (2.83)
	RSウイルス感染症								1 (0.03)	283 (0.09)	759 (25.30)
眼科	急性出血性結膜炎									8 (0.01)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	1 (0.33)	301 (0.44)	22 (7.33)
基幹	細菌性髄膜炎									10 (0.02)	3 (0.43)
	無菌性髄膜炎			2				2 (0.29)		5 (0.01)	6 (0.86)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)		193 (0.42)	20 (2.86)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 (0.14)		7 (0.02)	6 (0.86)
計 (小児科定点当たり人数)		34 (17.00)	68 (9.71)	206 (18.18)	75 (25.00)	37 (18.50)	57 (11.40)	477 (15.70)			
前週 (小児科定点当たり人数)		16 (8.00)	44 (6.29)	146 (13.18)	26 (8.67)	18 (9.00)	29 (5.80)		277 (9.20)	35,921	10,790 (325.91)

定点当たり

第19週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(18週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ									0.08
小児科	咽頭結膜熱			0.27			0.20	0.13	0.03	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.57	1.09	0.67	2.00	0.20	0.80	0.57	0.82
	感染性胃腸炎	9.00	6.71	9.36	6.67	5.00	5.00	7.43	6.00	6.18
	水痘	4.00	0.71	2.09	1.67	4.00	4.20	2.33	0.83	1.95
	手足口病		0.71	1.73	8.00	1.50	0.60	1.80	0.60	0.55
	伝染性紅斑			0.45				0.17	0.10	0.21
	突発性発疹	1.00	0.29	0.64	1.33	3.50	0.20	0.77	0.27	0.39
	百日咳			0.18				0.07		0.02
	ヘルパンギーナ	2.50	0.71	1.73	6.67	2.00	1.00	1.93	0.60	0.15
	流行性耳下腺炎			0.64			0.50	0.27	0.17	1.01
	RSウイルス感染症								0.03	0.09
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.44
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎			0.40				0.29		0.01
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14		0.42
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14		0.02
計 (小児科定点当たり人数)		17.00	9.71	18.18	25.00	18.50	11.40	15.70		
前週 (小児科定点当たり人数)		8.00	6.29	13.18	8.67	9.00	5.80		9.20	

2010年週報推移(定点当たり)

